

第 714 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議 題 —

ラジオ番組「B S N ラジオ 珍プレー好プレー大賞」

に関する意見交換

令和 8 年 1 月 29 日

BSN新潟放送

第 714 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 8 年 1 月 29 日(木)午前 11 時から

2. 開催場所 BSN 新潟放送 本社 6F 会議室

3. 委員の出席

○ 委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長	馬 場 省 吾	副委員長	佐 藤 元
委 員	高 橋 信	委 員	石 坂 智惠美
委 員	馬 場 幸 夫	委 員	太 田 勇 二
委 員	三井田 由 香	委 員	

○ 審議番組事前レポート提出者

委 員	渡 邊 信 子	委 員	大 橋 未来子
-----	---------	-----	---------

○ 放送事業者側出席者

社 長	島 田 好 久
取 締 役	小 湊 潤 (編成業務局担当役員)
取 締 役	島 田 讓 (報道制作局担当役員)

<説明員> 平澤 正 (オーディオコンテンツセンター長)

事務局長	間瀬 学 (編成業務局長)
事務局	品田 泰 (編成業務局テレビ編成部長)

4. 議 題

- 報告事項 令和 8 年 2, 3 月のネット単発番組・自社制作番組について(各担当)
- 審議番組 ラジオ番組「BSN ラジオ 珍プレー好プレー大賞」
放送日時: 2025 年 12 月 30 日(火) 14:00~16:00
※ テレビ版は 12 月 28 日放送

5. 議事の概要

島田社長の挨拶、各担当が令和8年2・3月度番組報告。続いて『BSNラジオ 珍プレー好プレー大賞』についての審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 16名のパーソナリティが一堂に会する企画は、まさに“おもちゃ箱をひっくり返した”ような賑やかさがあり、年末のスペシャル番組としてラジオらしい楽しさやワクワク感が伝わってきた。
- ラジオとテレビ、YouTube を連動させるメディアミックスの試みは、放送局としてのチャレンジであり評価できる。特に YouTube 版はテロップや表情が見えるため、番組の楽しさがより伝わりやすかった。
- 「珍プレー好プレー」というタイトルでありながら、実際の放送音源(同録)が一度も流れなかつた点が非常に残念だった。エピソードをトークだけで振り返るのではなく、当時の音声を流して検証することで、よりリスナーと共に感・共有できたのではないか。
- 16人という大人数で一斉に話したり笑ったりする場面では、誰が話しているか判別できず、聴き取りづらさを感じることがあった。特に冒頭部分は「内輪の盛り上がり」が強く、新規リスナーには入りにくい印象を与えた可能性がある。
- スケッチブックを使用したトークなど、視覚に頼る演出はラジオ単体では伝わりづらく、音声のみで聴いているリスナーへの配慮が不足していたように感じる。
- 中越地震のエピソードなど、ラジオが持つ「心に寄り添う力」や「災害時の重要性」を再認識させる場面には感動した。
- テレビ番組を入り口に新規リスナーを獲得するという目的は理解できるが、ラジオ単体で聴いた場合の置いてきぼり感を解消する構成の工夫が必要である。

～新潟放送オーディオコンテンツセンター長 平澤正より～

貴重なご意見をいただきありがとうございました。本企画は、普段ラジオに馴染みのない層にテレビやYouTube を通じて興味を持ってもらい、新規リスナーを獲得すること、また既存リスナーに他の番組も聴いてもらう回遊を目的として制作いたしました。

実際の音源同録を使用しなかつた点については、テレビ放送を優先した構成上の判断でしたが、ラジオ番組としての演出を考えると、入れるべきだったと思いました。また、大人数でのトークが「内輪の盛り上がり」に聞こえ、新規の方に入りづらかったというご指摘も重く受け止めております。

視聴率や再生回数等の数字も含め、今回のチャレンジの結果を検証し、いただいたご意見を参考に、ラジオ・テレビ兼営局の強みを活かした、より親しみやすいコンテンツ作りに努めてまいります。

【文責:番組審議会事務局】